



6年生修学旅行

10月12日(木)~13日(金)、長崎へ修学旅行に行ってきました。1日目は長崎原爆資料館、爆心地公園、平和公園を訪れ、平和集会をした後、平和学習フィールドワークを行いました。2日目は長崎歴史文化学習のフィールドワーク。ホテルを8:00に出発して、13:00 四海楼前に集合するまで5時間余り、自分たちで計画を立て、地図を頼りに、路面電車を利用しながら見学地を巡り、学習を深めました。



13日(金)は、1~5年生も1日バス旅行でした。1、2年生は、メルヘン村で動物とふれあい、たくさんの遊具で思いっきり遊ぶことができたようです。3、4、5年生は、宇宙科学館でスペースサイクリングや地震体験、ムーンウォークなど様々な体験ができたようです。

1~5年生バス旅行



~職場体験~

唐津東中学校より、本校の卒業生、北島慎平さんが、職場体験で東唐津小学校にやってきました。

18日(水)

19日(木)の

2日間、図書室の作業や給食の準備を手伝ったり、授業を参観したりしました。外国語活動の時間には、4年生に英語で質問をしたりしてくれました。さすが、中学生! 昼休みも一緒にグラウンドいっぱい走りまわって遊んでもらい、子ども達はとても嬉しそうでした。



読書の秋



やっと、秋らしくなってきました。過ごしやすい季節もあつという間に過ぎてしまうのかもしれませんが…全校朝会で「本を読みましょ」という話をしました。では、なぜ本を読むことが大切なのでしょう?

たくさんの文章に触れているいろいろな言葉に出会い、それぞれの意味や使い方を知って、言葉に対する感覚(語感)を磨くことが大切です。「言葉」をうまく使えるようになると、自分の気持ちをより正確に人に伝えることができたり、詳しく説明することができたりするので、より良く自分を理解してもらうことができます。そして、相手の気持ちや考えをより理解することができるようになります。

「読書をする」ということは、想像力を豊かにします。文字を追いながら、行ったことのない場所へ行き、出会ったことのない人に会えます。今まで知らなかった世界を知り、楽しかったり、むかついたり、時には涙を流したりします。その想像力が、私以外の人の気持ちを考えられる「やさしさ」につながってくれるのだと思います。

「読書は忍耐」でもあります。小さな文字を読むことは苦痛で仕方がないことがあります。物語はなかなか進展しません。それでも読み続けると、意外におもしろくなったり、いつのまにかお話に引き込まれていたりすることがあります。しばらくは、「忍」の一字で読み続けることも大切です。ご家庭でも、本を手にとっていただけたらと思います。